

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

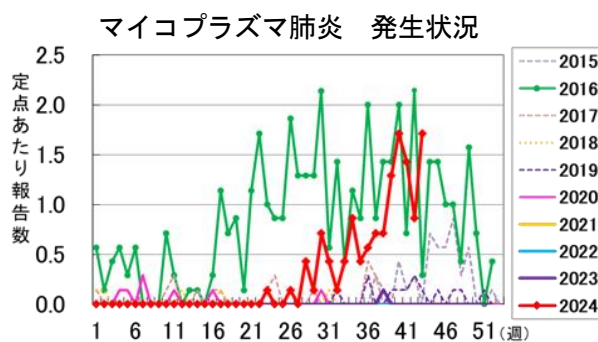
令和6年第43週の発生動向

□ トピックス

・マイコプラズマ肺炎(定点把握対象の疾患)

定点当たり報告数が2016年に次いで多い状況である。年齢別では、5～9歳が全体の約半数、15歳未満が全体の約9割を占めている。

また、全国では第42週の定点あたり報告数(2.0)が、1999年の感染症発生動向調査開始以降、最多となっている。



□ 全数報告の感染症 (43 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。
3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 3 例。4 類感染症：レジオネラ症 3 例。
5 類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 4 例、百日咳 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	男	肺結核	なし
			50歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		日向	80歳代	男	肺結核	痰
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	50歳代	男	—	腹痛、血便、O111(VT1,VT2)
		中央	30歳代	男	無症状病原体保有者	なし、O111(VT1,VT2)
			50歳代	男	無症状病原体保有者	なし、O111(VT1,VT2)
4類	レジオネラ症	宮崎市	70歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎
			70歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎、食欲不振、倦怠感
		都城	80歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、呼吸困難、下痢、意識障害、多臓器不全
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	60歳代	女	—	ショック、軟部組織炎、全身性紅斑性発疹
			80歳代	男	—	ショック、肝不全、腎不全、DIC
	侵襲性肺炎球菌感染症	延岡	80歳代	男	—	発熱、咳、全身倦怠感、肺炎、菌血症、心のう液貯留
	梅毒	宮崎市	30歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			80歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		都城	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
			30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	鼠径部リンパ節腫脹
	百日咳	高鍋	40歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 955 人(定点当たり 28.1)で、前週比 116%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎、手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 36 人(0.6)で、前週比 64%と減少した。延岡(1.7)、日向(1.0)、中央(1.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

【感染性胃腸炎】

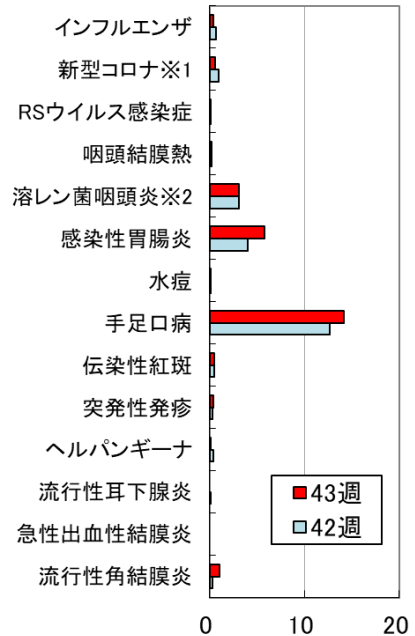
報告数は 207 人(5.8)で、前週比 144%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(4.1)の約 1.4 倍であった。日南(12.3)、中央(10.0)、宮崎市(6.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 5 歳が全体の約半数を占めた。

【手足口病】

報告数は 510 人(14.2)で、前週比 112%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.6)の約 5.4 倍であった。宮崎市(22.3)、日向(16.8)、延岡(16.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 5 歳が全体の約 7 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

《前週との比較》

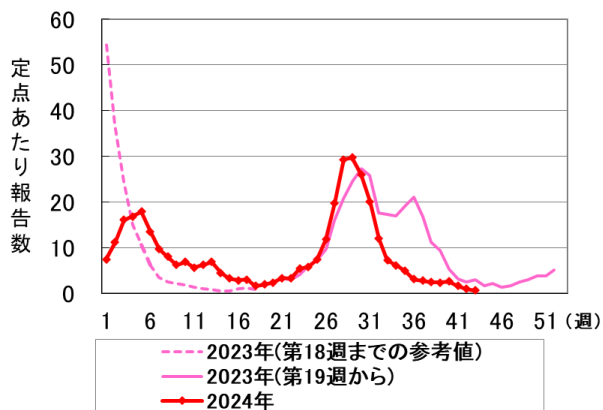


定点あたり報告数

※1 新型コロナウイルス感染症

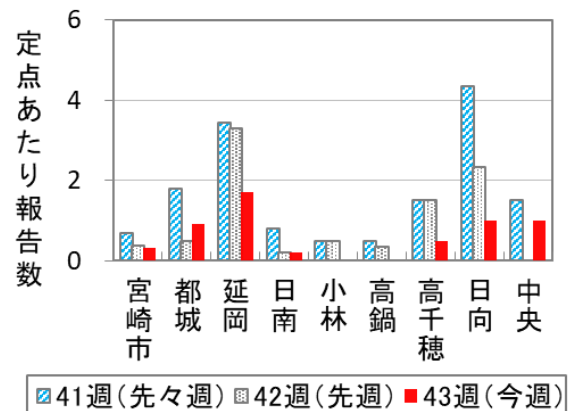
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症 発生状況

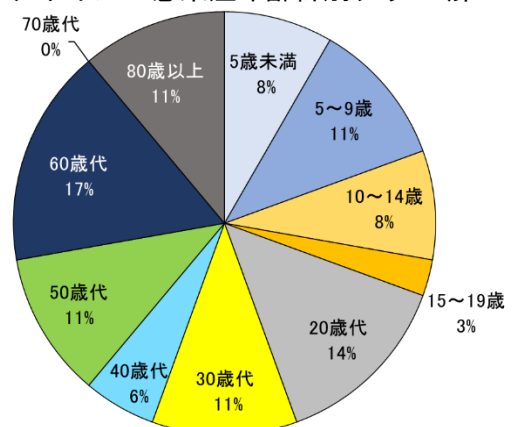


※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

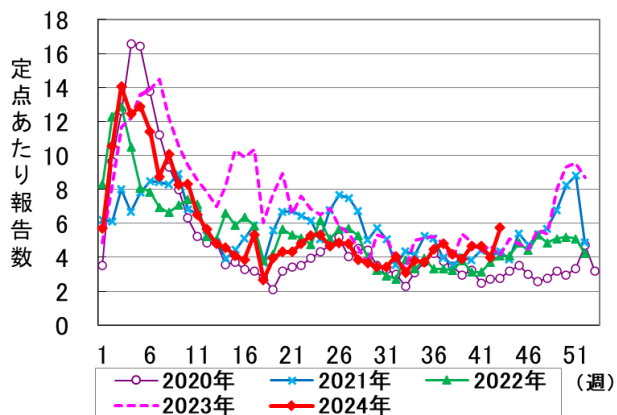
新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3 週分)



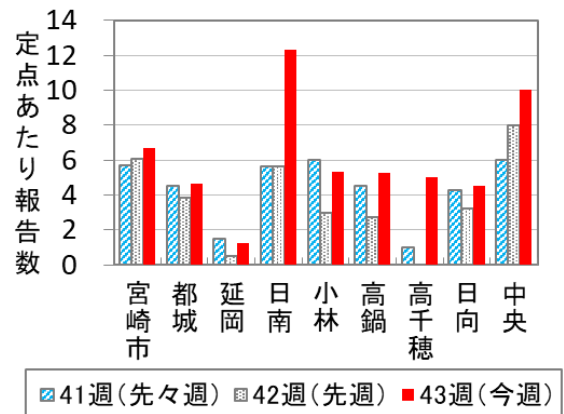
新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第 43 週)



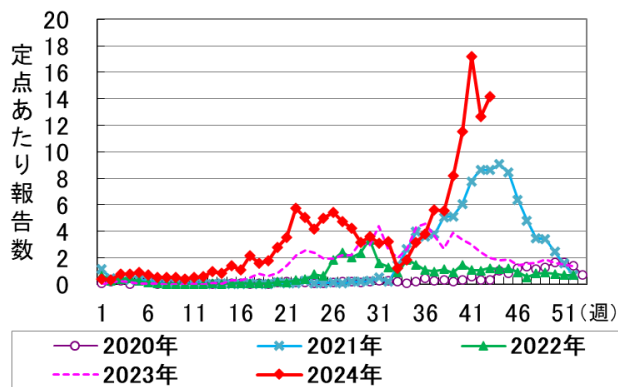
感染性胃腸炎 発生状況



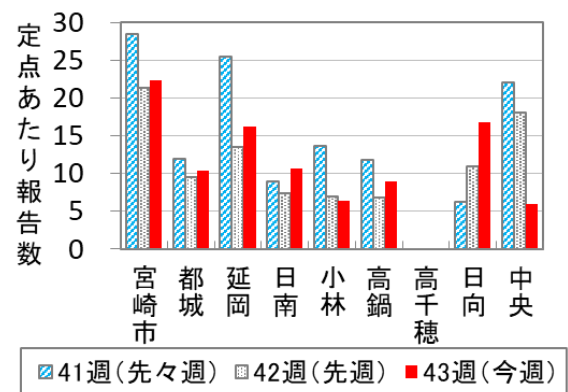
感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：日向(6例)、宮崎市(4例)、延岡(2例)保健所から報告があった。年齢は10～14歳が5例、5～9歳が4例、0～4歳が3例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	手足口病(22.3)
都城	手足口病(10.3)
延岡	手足口病(16.3)、伝染性紅斑(3.5)
日南	手足口病(10.7)
小林	手足口病(6.3)
高鍋	手足口病(9.0)
高千穂	なし
日向	手足口病(16.8)
中央	手足口病(6.0)

＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・手足口病(5)
- ・伝染性紅斑(2)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和6年10月28日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Haifa (O4:z10:1,2)	5～9歳	女	2024.09.28	水様性下痢、腹痛	便	2024.10.04
<i>Salmonella</i> Miyazaki (O9:l,z13:1,7)	80歳代	男	2024.09.30	発熱	便	2024.10.07
EHEC(O157:H7 VT1,2)	20歳代	男	2024.10.01	出血性下痢、腹痛、発熱	便	2024.10.11

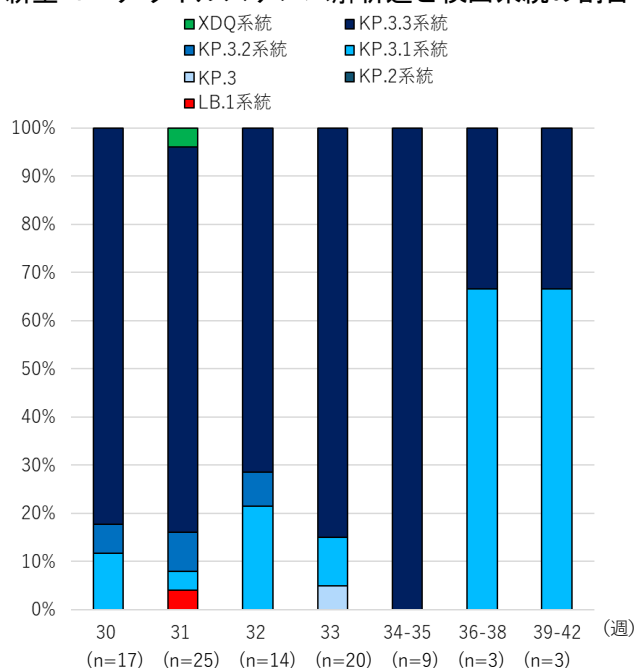
★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Human herpes virus 6	5～9歳	女	2024.09.18	麻疹疑い、38.9℃、発疹(紅斑)	鼻咽頭ぬぐい液 全血	2024.10.22

○麻疹疑いの患者1名から、Human herpes virus 6 (HHV-6) が検出された。HHV-6 は Human herpes virus 7 (HHV-7) とともに、突発性発疹と診断された患者から検出されることが多い病原体である。一度、HHV-6 や HHV-7 に感染した者の唾液中にはウイルスが持続的に排出されるため、唾液や咽頭スワブから、これらのウイルス遺伝子が検出されても、それをもって突発性発疹と診断することはできないため、注意が必要である。

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統の割合



○第39-42週はKP.3.1.1が約67%、KP.3.3が約33%を占めている。

※KP系統はJN.1.11.1の子孫株で、現在、日本、欧米で流行している。
ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多い場合は割合の変動が大きくなる。
衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスのPCR陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

🇯🇵 全国 2024 年第 42 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	198 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	96 例	腸チフス	2 例
4類感染症	E型肝炎	5 例	エキノкокクス症	1 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	チクングニア熱	1 例	つつが虫病	2 例	デング熱	3 例
	日本紅斑熱	28 例	ライム病	2 例	レジオネラ症	95 例
	レプトスピラ症	1 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	39 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	21 例	後天性免疫不全症候群	10 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	18 例	水痘(入院例)	6 例
	梅毒	172 例	播種性クリプトкокクス症	4 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	122 例	麻しん	2 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 87%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は伝染性紅斑で、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、感染性胃腸炎及び手足口病であった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 9,165 人(1.9)で前週比 78%と減少した。岩手県(4.1)、北海道(3.8)、山梨県(3.1)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。

手足口病の報告数は 29,416 人(9.4)で前週比 87%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (1.1) の約 8.6 倍であった。山形県(26.9)、宮城県(21.4)、福島県(20.6)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 5 歳が全体の約 7 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

疾病名		第42週	第43週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	39	23	3	12	1	3		1		3	
	定点当り	0.67	0.40	0.19	1.20	0.14	0.60	0.00	0.17	0.00	0.50	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	56	36	5	9	12	1			1	6	2
	定点当り	0.97	0.62	0.31	0.90	1.71	0.20	0.00	0.00	0.50	1.00	1.00
RSウイルス感染症	報告数	1	5			1	3				1	
	定点当り	0.03	0.14	0.00	0.00	0.25	1.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	7	9	3	3	1			1		1	
	定点当り	0.19	0.25	0.30	0.50	0.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	112	111	33	12	19	20		17		7	3
	定点当り	3.11	3.08	3.30	2.00	4.75	6.67	0.00	4.25	0.00	1.75	3.00
感染性胃腸炎	報告数	144	207	67	28	5	37	16	21	5	18	10
	定点当り	4.00	5.75	6.70	4.67	1.25	12.33	5.33	5.25	5.00	4.50	10.00
水痘	報告数	5	1						1			
	定点当り	0.14	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	457	510	223	62	65	32	19	36		67	6
	定点当り	12.69	14.17	22.30	10.33	16.25	10.67	6.33	9.00	0.00	16.75	6.00
伝染性紅斑	報告数	16	17	3		14						
	定点当り	0.44	0.47	0.30	0.00	3.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	12	14	6	2	2		1			2	1
	定点当り	0.33	0.39	0.60	0.33	0.50	0.00	0.33	0.00	0.00	0.50	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	13	4	2		2						
	定点当り	0.36	0.11	0.20	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	2	6		6							
	定点当り	0.33	1.00	0.00	3.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	6	12	4		2					6	
	定点当り	0.86	1.71	4.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00		6.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

● 全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週 ～43週 保健所受理分)

2類感染症	結核	96例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	38例(3)				
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	7例
	つつが虫病	14例	日本紅斑熱	12例	レジオネラ症	15例(3)
5類感染症	ア메ーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	3例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	18例(2)	後天性免疫不全症候群	2例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例	侵襲性肺炎球菌感染症	15例(1)	水痘(入院例)	5例
	梅毒	128例(4)	播種性クリプトコックス症	3例	破傷風	2例
	百日咳	45例(1)				

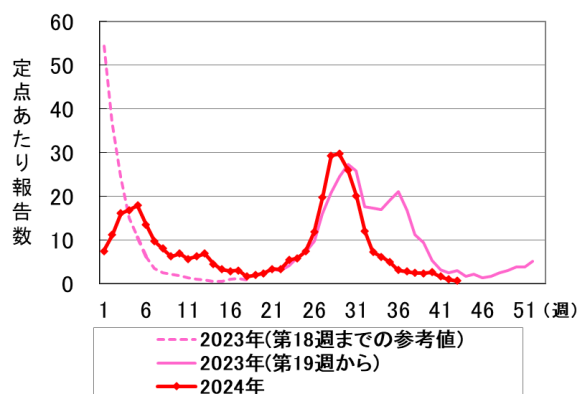
()内は今週届出分、再掲

新型コロナウイルス感染症情報《県内第 43 週、全国第 42 週（再掲）》

□ 県内第 43 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

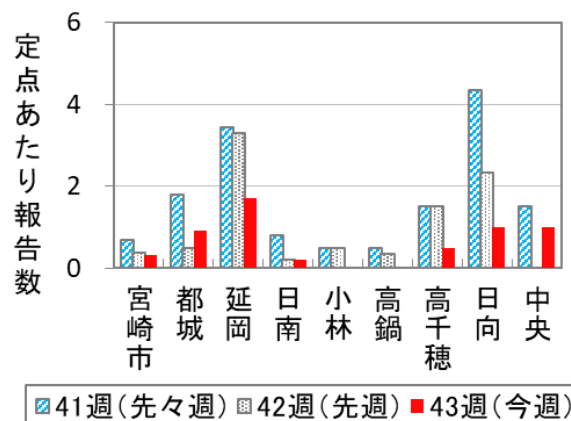
10 月 21 日～10 月 27 日までの 1 週間で 36 人(0.6)の報告があり、前週比 64%と減少した。延岡(1.7)、日向(1.0)、中央(1.0)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況

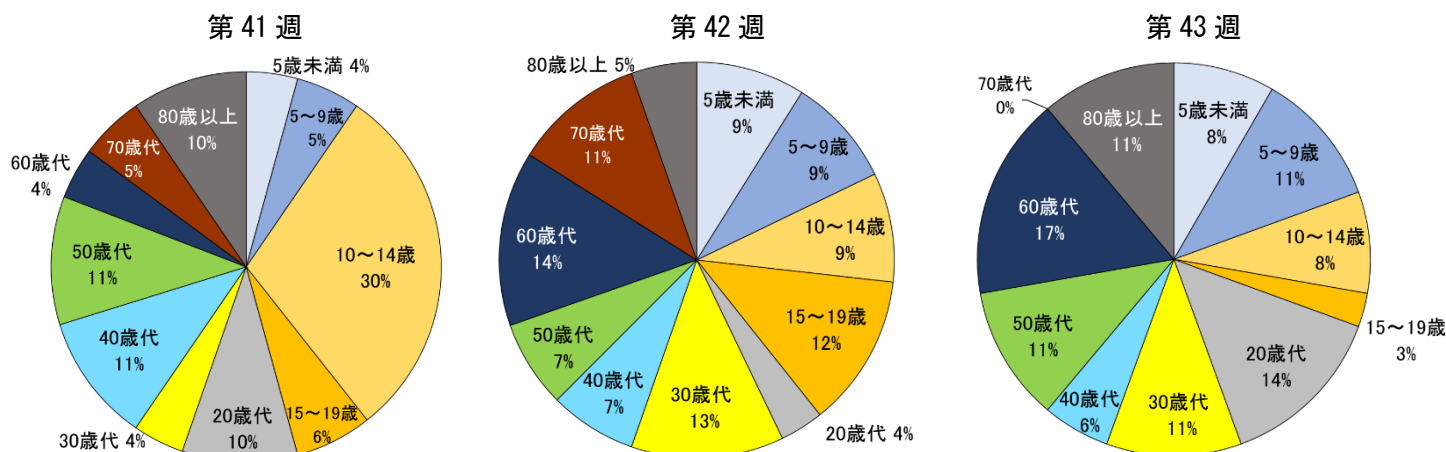


※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

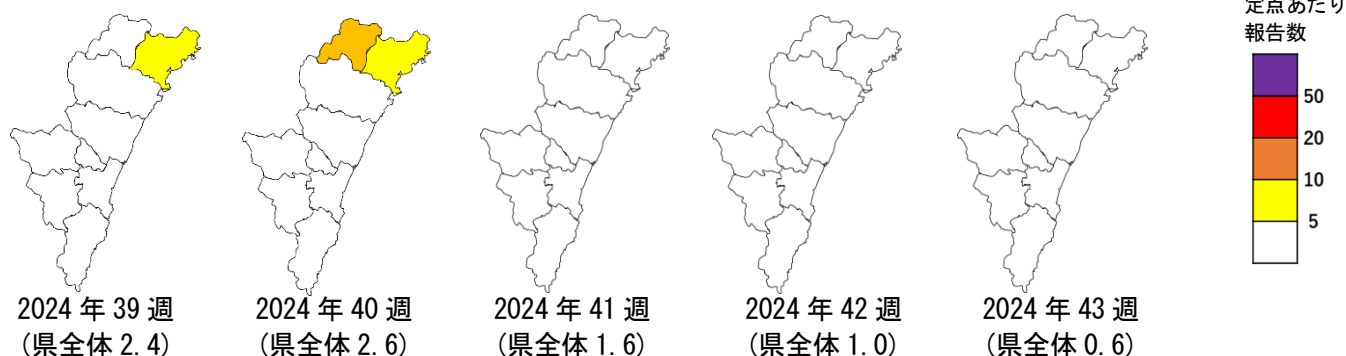
新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3 週分)



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024 年第 39 週～2024 年第 43 週



* 県独自の基準によるもの

□ 全国第 42 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

10 月 14 日～10 月 20 日までの 1 週間で 9,165 人(1.9)の報告があり、前週比 78%と減少した。岩手県(4.1)、北海道(3.8)、山梨県(3.1)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。